



Via Latina 22

2024年6月 332号

総本部よりのお知らせーマリア会

目次

• インド地区の初集会.....	1
• USA 管区でのマリア会初誓願式.....	3
• ローマのシャミナード国際神学校での助祭叙階式.....	4
• ローマのシャミナード国際神学校での奉仕職選任式.....	5
• オーストリアードイツ地区の地区長の任命.....	6
• Miguel Ángel Quiroga と暴力の犠牲者たち.....	6
• USA からの巡礼者の総本部訪問.....	8
• 第2バチカン公会議の第3会期結びの祈り.....	8

インド地区の初集会

2024年5月5日は、マリア会の新たなインド地区の正式な発足の日でした。この行事はインド、カルナータカ州のバンガロールにて5月2日から5日にかけて開催された集会の一環として行われました。この集会には新しい地区のほぼ全会員（77名）と、大勢のゲストが出席しました。

総本部を代表して総長、André-Joseph Fétis 師と霊生局長、Pablo Rambaud 師が出席されました。USA 管区からは数人の管区評議員会メンバーを伴って管区長、Oscar Vasquez 師と副管区長 Bernard Ploeger 士が出席しました。

これに加え、長年に渡りインドで任務を果たした数名の兄弟たちがこの集会に参加しました、その中にはその人生の大半をインドに捧げた Delmar Jorn 士が含まれていました。



総長、André-Joseph Fétis 師、インド地区の新しい地区長評議員とともに

長年に渡りインドで生活した Florian Roger-Chabot 師がカナダを代表して出席しました。日本、韓国、そして東アフリカからの上長たちも出席していました。マリアニスト修道女（FMI）たちは日本管区長、シスター Scolastica Le そして韓国からシスター Marianna Kang、そしてインド従属地区の数名のシスター、又 USA 管区からシスター Laura Leming が出席しました。MLCs を代表してインドと韓国から国内の会長が出席しました。

この集会の間、感謝と共に過去の出来事を、特にインドとの特別な絆を持ち、帰天したマリア会員たちのことを思い起こす時間が設けられました。新地区の会員たちはまた、インド現状、すなわち彼らの豊かさと複雑さを伴う今の共同体とその宣教活動の現実を注視しました。これに加えて、私たちはこの新しい地区の将来に、すなわち新地区の様々な課題と召命に絶対に目を向ける必要があります。これら全てはお祝いと式典の雰囲気の中で行われ、打ち解けた出会いもありました。



地区集会後の集合写真

最後の式典の間に、マリア会インド地区を創設する旨の、総長の布告が読み上げられました。同時に、新たな地区長評議員会のメンバーの就任式が行われました。評議員会の構成メンバーは；地区長、Prakash Kujur 士；霊生部長、Ignase Arulappen 師；教育部長、Basant Kujur 士；財務部長、Pratap Guria 士；そして評議員、Prasad Nitta 師です。

USA 管区でのマリア会初誓願式

2024年5月18日、Chicago Joe Schuller 士はオハイオ州、ビーバークリックの使徒の元后聖堂にて、マリア会の初誓願を宣立しました。修練長、Dennis Bautista 士と副修練長、Tim Eden 師は、Chicago 士が養成と識別期間を経て、誓願宣立に相応しい候補者であると紹介しました。彼の誓願は管区長、Oscar Vasquez 師によって受け入れられました。

彼の母 Kerry と兄弟 Stingray は、誓願式とそれに続くお祝いの席に、家族のメンバー、友人たち、そしてマリアニスト共同体のメンバーと共に出席しました。誓願式はまたネットでライブ配信され、世界各地のマリアニスト家族メンバーと友人たちは彼の初誓願に立ち会うことが出来ました。



Chicago Schuller 士、家族とともに

Chicago Joe Schuller 士は 25 才で、テキサス州、ハーリンゲンで生まれ、テキサス州ミッションで育ちました。彼はテキサス州、サンアントニオのセント・メリー大学へ入学した時初めてマリア会員に会いました。彼はセント・メリー大学で自分の学業に専念し、2020年ビジネス管理で修士号を得て卒業をした後、マリアニストの志願者になることを願い出しました。彼は町の農業 Co-op で農業労働者としてボランティア活動を行い、またデイトンの大学で男子の小グループと共にマリア会

員を手伝いながら、前志願期を終えました。それから Chicago 士はセント・メリー大学に戻り、聖ロザリオ小教区、セントラル・カトリック高等学校、そしてテカボカ(青年のためのサマーキャンプ)などで宣教活動に参加しました。彼の一年間の使徒活動は、セントルイスの USA 管区の財務部での援助の仕事と、オハイオでのマリアニスト・ミッションに2分されていました。

初誓願宣立後、Chicago 士はセントルイスのメリーランド共同体に赴任し、そこでセント・ジョン・ビアンネ高校のキャンパス・ミニストリーと広報活動 (PR) に従事することになります。

ローマのシャミナード国際神学校での助祭叙階式

叙階式は 2024 年 5 月 11 日、Via Latina 22 の柱の聖母聖堂にて行われました。2 名の新助祭は：Messi Gatien Loubiya(ブラザビルコンゴ)と Showraiah Ravulapalli(インド)です。この叙階式は 2 つの共同体とその施設のスタッフによってしっかり準備された立派な式典で、それに多くの人たちが出席しました。式典への出席者は、ローマの男子・女子マリアニスト共同体、信徒マリアニスト共同体メンバー、地域小教区の代表者、国際神学校と緊密な関係を持っている修道会共同体、私たちの共同体と新任助祭の友人たちでした。フランス地区を代表して地区長、Jean-Marie Leclerc 士が出席しました。インド地区からは参加を予定していた会員がビザ問題で出席出来ませんでした。叙階式はインターネットで配信されて、新任助祭の同僚と親族たちは自分たちの居場所から叙階式を見守ることが出来ました。マリアの御名小教区の聖歌隊がミサの祭儀の聖歌で式を盛り上げ協力しました。



左より：Messi Gatien Loubiya 助祭、Luis Ladaria 枢機卿、Showraiah Ravulapalli 助祭

ミサの祭儀は Luis Ladaria 枢機卿によって司式されました。彼は説教の中で、“愛の中でのみ、愛

の役務が実践されるように、愛の中でのみ、み言葉は宣べ伝えられる”ことを思い起こさせました。彼は新助祭に話しかけて、付け加えました：“人間的必要性であなた方を無関心のままにさせておくことのできるものは何もありません。苦しんでいる人たちへの寄り添いと慰めは、救い、慰める唯一の方、イエスの寄り添いのしるしでなければなりません”。

ミサ祭儀の後、祝賀会が建屋の中庭で軽食を取りながら続けられ、それは快適で和やかなひと時でした。

私たちは Messi と Showrry の召命について、そしてマリア会と全教会に奉仕する彼らの召命において彼らを助祭奉仕者となされたことについて神に感謝いたします。6月の末にこの2名はそれぞれ自分たちの所属ユニットに戻ります。

ローマのシャミナード国際神学校での奉仕職選任式

2024年5月24日、ローマのシャミナード国際神学校で奉仕職選任式が行われました。選任式は総本部と神学校の2つの共同体の出席のもと Via Latina 22 の柱の聖母聖堂にて執り行われました。

7名の神学生が朗読奉仕者として選任されました：Yves Agbadou(CI), Patrick Cahill(ME), Christophe Mbonde(RCD), Chrishata Ngosa(Z), Gilbert Okade(EAK), Daniel Orellana(CH), そして Raoul Rouamba(CI)が祭壇奉仕者として選任されました：Claudel Noël (CI)。

選任式は総長、André-Joseph Fétis 師によって執り行われました。朗読奉仕職と祭壇奉仕職は一般信徒の奉仕職とは言え、教会はこの2つの奉仕職を司祭職への養成課程の中に含めています。Fétis 師はその説教の中で、この新任奉仕者たちに対して、神のしるしと新しさに開かれた探求の精神と、奉仕の精神に生きるよう招きました。



総長、André-Joseph Fétis 師、新しい朗読奉仕者と祭壇奉仕者とともに

私たちは奉仕職を授かったこれら8名の兄弟たちが歩む養成の道について神に感謝いたします。

もう一度、私たちは彼らが授かった召命に応えながら成長し続けることができるよう、聖霊とマリアの母としての愛に彼らを委ねます。

オーストリアードイツ地区の地区長の任命

会員たちの意見聴取の後、André-Joseph Fétis 総長は総長評議員会の総意を得て Helmut Brandstetter 師を 3 期目の任期でオーストリアードイツ地区、地区長として任命しました。この辞令は 2024 年 8 月 13 日、福者 Jakob Gapp の祝日に発効します。



総本部はこの新たな辞令を寛大な心で受けてくれた Helmut 師に感謝し、この地区のために可能でベストの方向を確かなものとする彼の献身的奉仕に称賛を送ります。彼はこの奉仕を全ての兄弟たちと彼の評議員会の支援を得て遂行します。オーストリア地区は、又一般信徒の有能なグループの協働を期待することができます。

この新評議員会の重要な任務の一つは、ヨーロッパゾーン（CEM）内での再構築に向けて準備することです。私たちは Helmut 師と兄弟たち、および彼らと福音宣教で連携しているすべての皆さんのために祈ることを約束します。

Miguel Ángel Quiroga と暴力の犠牲者たち

この復活祭の時期は、“友のために自分の生命を捧げる以上の大きな愛はない”（ヨハネ 15・13）ことを私たちに思い出させます。1998 年 9 月 18 日、“Michel”が準軍隊から一人の仲間を守って銃で撃たれたとき、彼はこのイエスの言葉を全うしていました。何故、このような状況で 26 才で死ぬことは納得いかないのでしょうか？この“なぜ”という疑問は暴力の犠牲者の親族から度々発せられます。多くの犠牲者、特に子供たちを巻き添えにする軍事的紛争に直面して考えると、この疑問は日常的事物になってきています。

Michel は自分の命、自分の知的能力で実現しようと望んでいた全てのこと、マリアニスト修道者としての誓約、分かち合いの喜びを犠牲として捧げました、、、これら全てが数秒で崩壊しました。何故でしょうか？あなたがクリスチャンなら、自分の命を捧げることに意味があります。この自己犠牲の賜物は、自ら進んでユダの接吻に、大司祭の判決に、世俗の権力の手にも、そして十字架の死にご自身を引き渡されたイエスの自己犠牲の賜物に与ることです。とはいえ、この明け渡しを通して、復活したイエスは全人類にとって永遠の命の源とされます。私たちの“なぜ？”への答え、それは私たちに向けられたイエスの愛の中に、そしてイエスが私たちに示される模範の中にあります。



コロンビアのマリア会員の会合 Michel 士は中央下

自分の命を捧げることで、Michel と今日の他の多くの人たちは、「イエスと一致して捧げた命は愛によって与えた命であり、意味を持っている」という事実を証ししています。それは神秘的に実を結び、私たちの時代の殉教者と一致して主と共に歩み続ける勇気を私たちに与えています。

暴力に直面して自分たちの信仰に応えなければならない全ての人たちのために、Michel が私たちに残した祈りでもう一度祈りましょう。

主イエスよ、
あなたの命を私の命と一つにしてください。
私の命をあなたの命と一つにしてください。
私たちの命を他の人たちの命と一つにしてください。
そうすれば私は分かち合いそして兄弟になれます。
そして私は、この世界に私たちの父である神の国を建て、
貧しい人々や排除された人々に正義、生命、そして解放をもたらします。
復活された主の足跡を範としながら、アーメン。

USA からの巡礼者の総本部訪問



4月22日、ローマを訪れた約30名の巡礼者が総本部で歓迎を受けました。彼らはミサに与り、Via Latina 22の建屋と庭園を見学し、テラスで自家製のピッツァでランチを分かち合いました。この巡礼はUSA管区の活動の一つであるマリアニスト・ミッションによって計画され、管区の霊生部長、Tim Kenney 師が同行しました。総本部共同体はこの訪問と同志的な交流に感謝しました！

第2バチカン公会議の第3会期結びの祈り



教会の母、おとめマリアよ、全教会と私たちの公会議をあなたに委ねます。
司教たちの支えであるあなたは、司教たちをその使徒的任務において保護し、支えておられ、また司教たちをその重い任務において助けているすべての司祭、修道者、信徒を保護し、支えておられます。
御子の贖いの死の時に御子によって愛する弟子に母として示されたあなたは、あなたに信頼をおくキリスト者をお忘れになりません。

あなたの全ての子どもたちを忘れないでください；彼らの祈りを神に届けてください、彼らの信仰をお守りください、彼らの希望を強めてください、彼らの愛を増やしてください。苦しい試練、貧困、危機の中で生きている全ての人たち、特に信仰のために迫害に苦しみ、

そして投獄されている人々を忘れないでください。
おとめマリアよ、これらの人々に力を得させ、望まれる正義のある自由の日を早めてください。
分断された私たちの兄弟たちを思いやりの心で注視してください、
そしてどうか私たちが一つになれるようお計らいください、
あなたは神と人間を結びつける橋であるキリストを世にもたらしてくださいました。
曇りも、汚れもない光の神殿であるマリアよ、
父なる神が私たちの弱さを憐れみ、愛する喜びを私たちにお与えになることによって、
私たちの反目をなくしてくださるよう、御父との私たちの和解の仲介者（ローマ 5・11 参照）である
あなたの一子に取り次いでください。
マリアよ、最後にあなたの汚れない御心に全人類を委ねます。
全人類にイエスキリストが唯一で真の救い主であることを知らしめてください。
罪による禍いから全人類を守り、全世界に真理、正義、自由、そして愛に於ける平和をお与えください。
そしてこの偉大な公会議を開催することによって、全教会が慈しみの神に賛美と感謝の荘厳な賛歌を捧げることが
出来るように計らいください、なぜなら、温和で、敬虔で、優しいおとめマリアよ、
あなたを通して、主は大いなることをなされたからです。

聖パウロ 6 世、1964 年 11 月 21 日

最近の総本部通信

- 訃報：5-6 号
- 5 月 20 日：連絡 # 3、総会の準備委員会からユニットの評議員会メンバーへ
3ヶ国語で送付